

堂

二〇一九年八月一二日。広島駅から、ひろしま観光ループバス「メイプル」に乗り、平和公園前で降車、広島平和記念公園を元安川沿いに回り込んで、広島平和記念碑（原爆ドーム）に近づいていくことにした。

原爆ドームの名で知られる広島平和記念碑。もともととは、広島県のさまざまな物産を展示するための「広島県物産陳列館」であった。チェコ人の建築家、ヤン・レッツェルの設計で、一九一五年に開館した。一九二一年に「広島県立商品陳列所」、一九三三年には「広島県産業奨励館」に改称された。なお、戦時中には産業奨励館としての業務が停止され、行政機関・統制組合の事務所として使われていたようだ。

そして一九四五年八月六日、原爆が投下された。全半壊した被爆建造物の解体や修復が進められていく中で、廃墟となった広島県産業奨励館も取り壊すべきだという意見が多かったそう。広島平和記念都市建設法が制定されると、広島平和記念公園構想が本格化する。一九五五年には丹下健三ほか三名の設計による広島平和記念公園が完成した。広島県産業奨励館廃墟も、広島平和記念碑（原爆ドーム）として留保された。

広島平和公園は、広島平和記念碑（原爆ドーム）を北の起点として、広島平和都市記念碑（原爆死没者慰霊碑）、広島平和記念資料館（原爆資料館）が南北方向に一直線上に位置するように設計されている。広島平和都市記念碑（原爆死没者慰霊碑）には「安らかに眠って下さい 過ちは繰返さずせぬから」という碑文がぎざまざれており、中央の石室には、国内外を問わず、死亡した原爆被爆者全員の氏名を記帳した原爆死没者名簿が納められている。



KOばねん志安M